

タ Kubo 物置

Vol.6

Mr.シャッターマン ダンディ

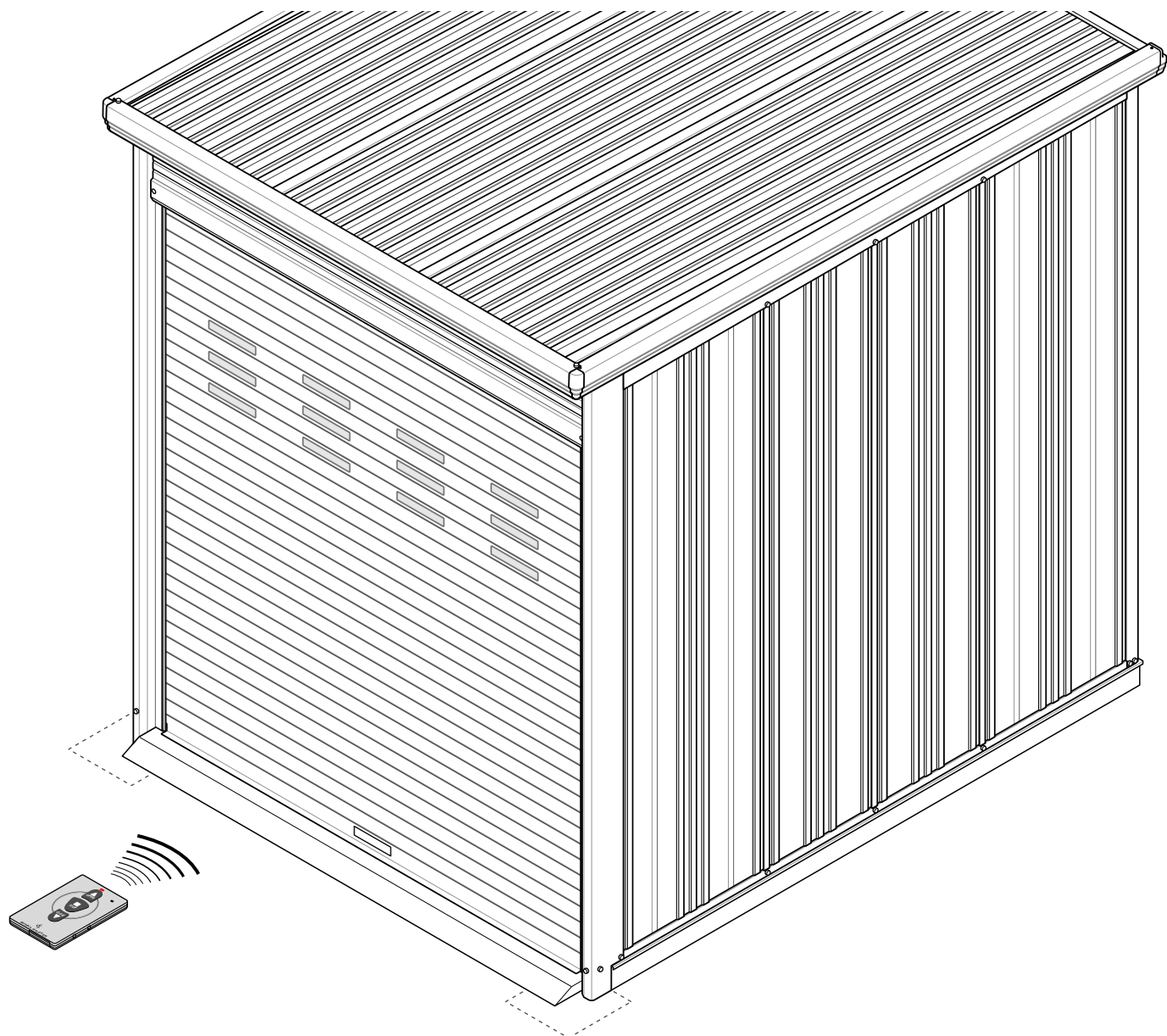
バイクシャッターマン

組立説明書

(オプション)

電動巻取シャッター

2タッチ操作仕様



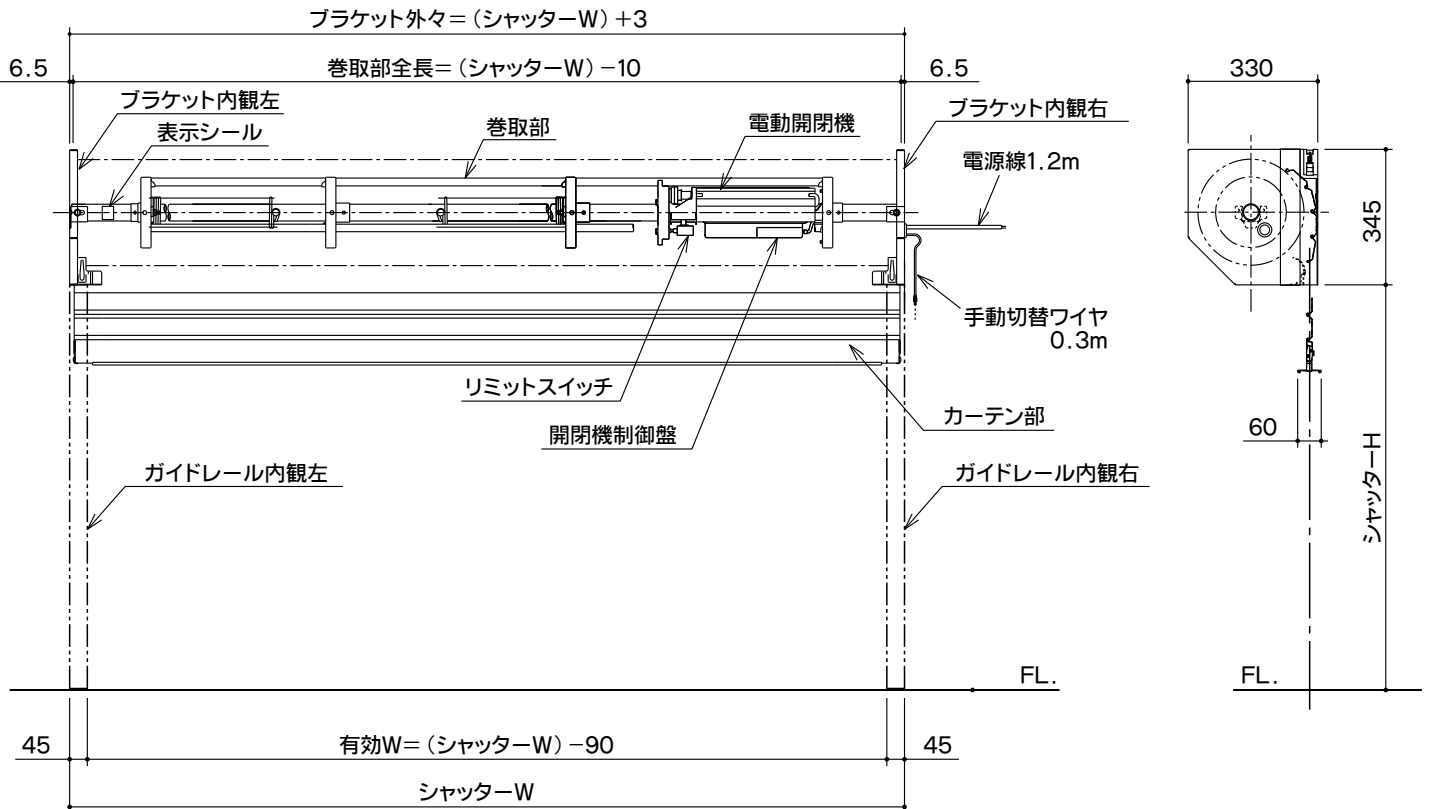
お買い上げいただき、ありがとうございます。  
この説明書をよくお読みのうえ、正しく組み立ててください。

**TAKUBO** 株式会社 田窪工業所

[SD-R0-0990-00-00]

# 1. 概観図

## 【内観図】

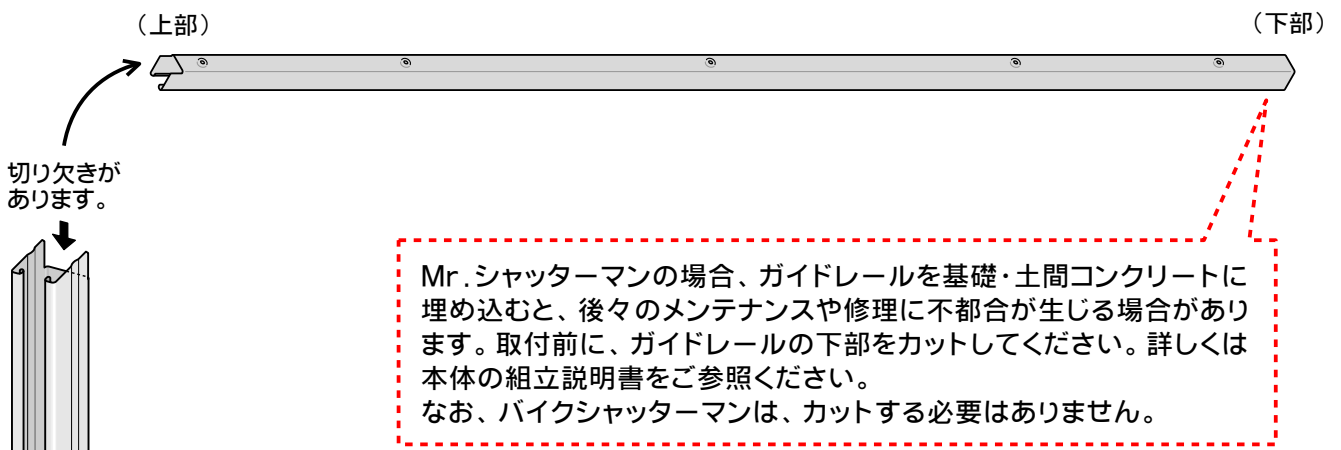


(単位はmm)

適用機種	梱包番号	シャッターW	シャッターH		スラット枚数
			Mr.シャッターマン WS型	バイクシャッターマン BS型	
1819・1822・1826・1829型	2WS-R617	1708	2342	2090	39枚
2219・2222・2226・2229型	2WS-R620	2076	2342	2090	39枚
2519・2522・2526・2529型	2WS-R624	2408	2342	2090	39枚
2919・2922・2926・2929型	2WS-R627	2776	2342	2090	39枚

## 【ガイドレール】

- Mr.シャッターマン WS型用 … 全長 = 2412 mm
- バイクシャッターマン BS型用 … 全長 = 2109 mm



## 2. 電気供給について（電気工事業者の方へ）

①電 源 アース端子付 AC100V ……………（UL規格のアース仕様）

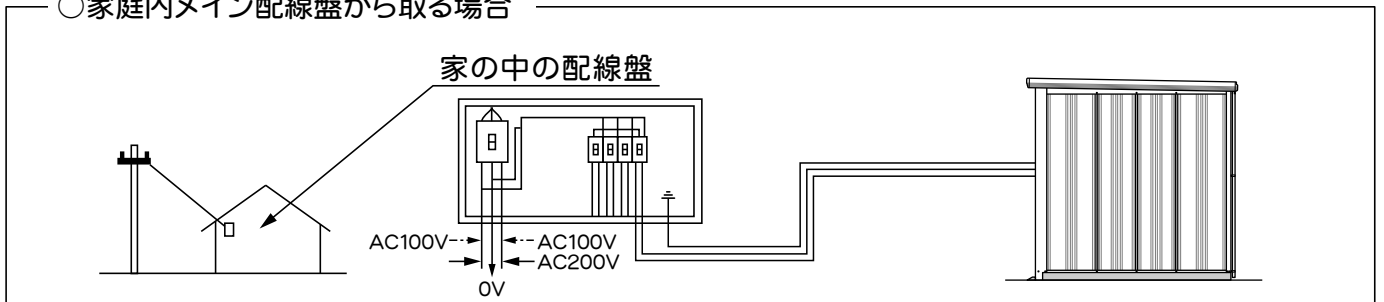


アース端子付

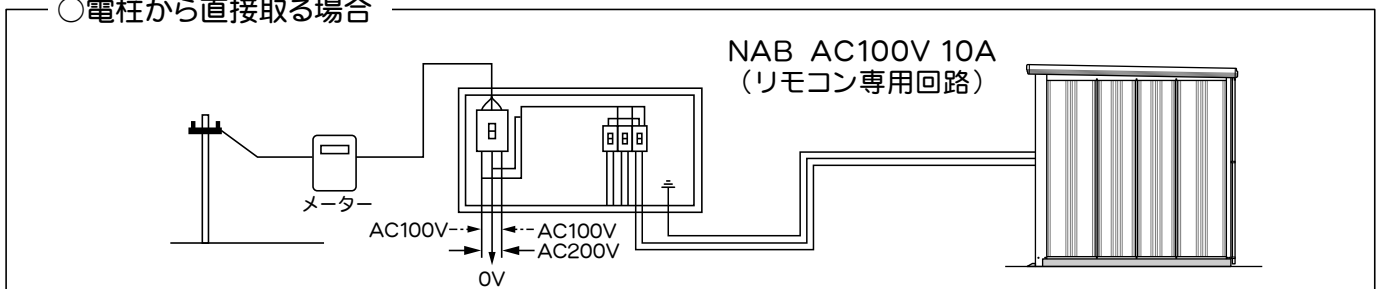
- ②専用ブレーカーを設定して、メインブレーカーから直接取らない様にしてください。
- ③屋内配線から電源を取る場合は、既設ブレーカーの方が容量が大きいことを確認ください。
- ④屋外防水コンセントなどから電源を取る場合は、既設ブレーカーの方が容量が大きいことを確認ください。
- ⑤配線は1.6～2.0mmの平行線をご使用ください。
- ⑥消費電力 200W（ブレーカーは10A程度が目安）／1台
- ⑦物置本体に対して、適切な工事を施してください。

### 電気供給図

○家庭内メイン配線盤から取る場合



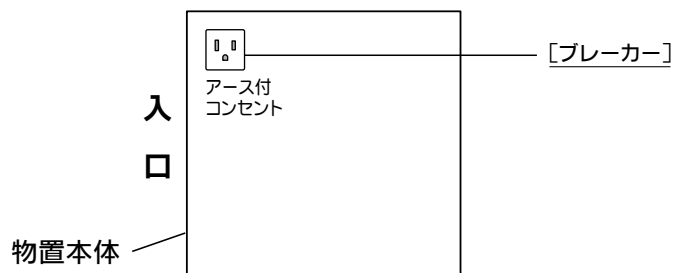
○電柱から直接取る場合



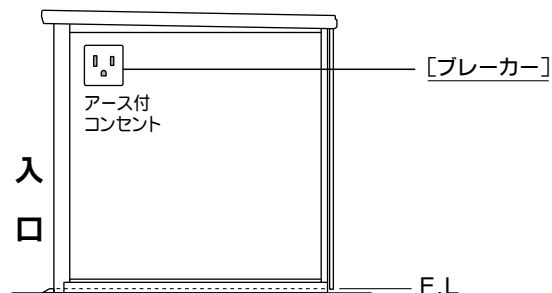
○物置内配線

コンセントは、本体左前の上部付近に取り付けてください。

【平面図】



【側面図】



### 3. 電動巻取シャッターの取付

#### 使用部品

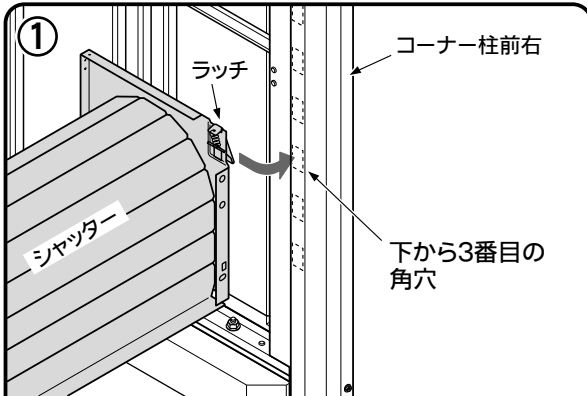
電動巻取シャッター \_\_\_\_\_ 1

電動巻取シャッターは、正面から見て左側にモーターが内蔵されています。左側の方が重いので、ご注意ください。

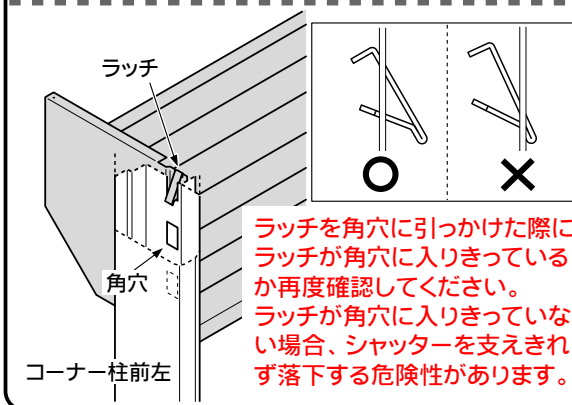


**注意**

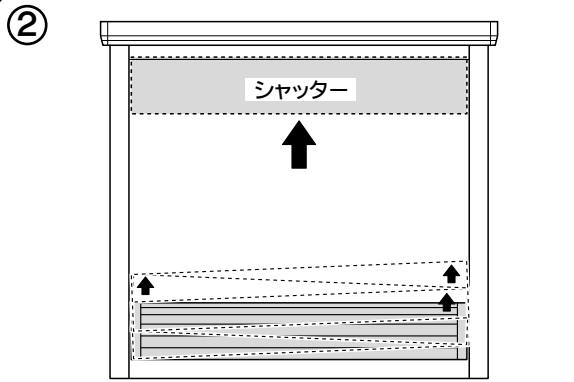
- この作業は、必ず2人以上で行ってください。
- フィルムは、シャッターを本体にネジ止めするまで、はずさないでください。
- 組立前に、シャッター内側に貼り付けてあるフック棒とホイールカバーをはずしてください。
- シャッター両端の下に、シャッターが巻き戻らないための固定金具（P6 参照）が取り付けられていますが、ここではまだはずさないでください。



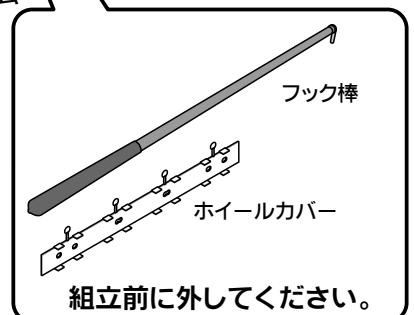
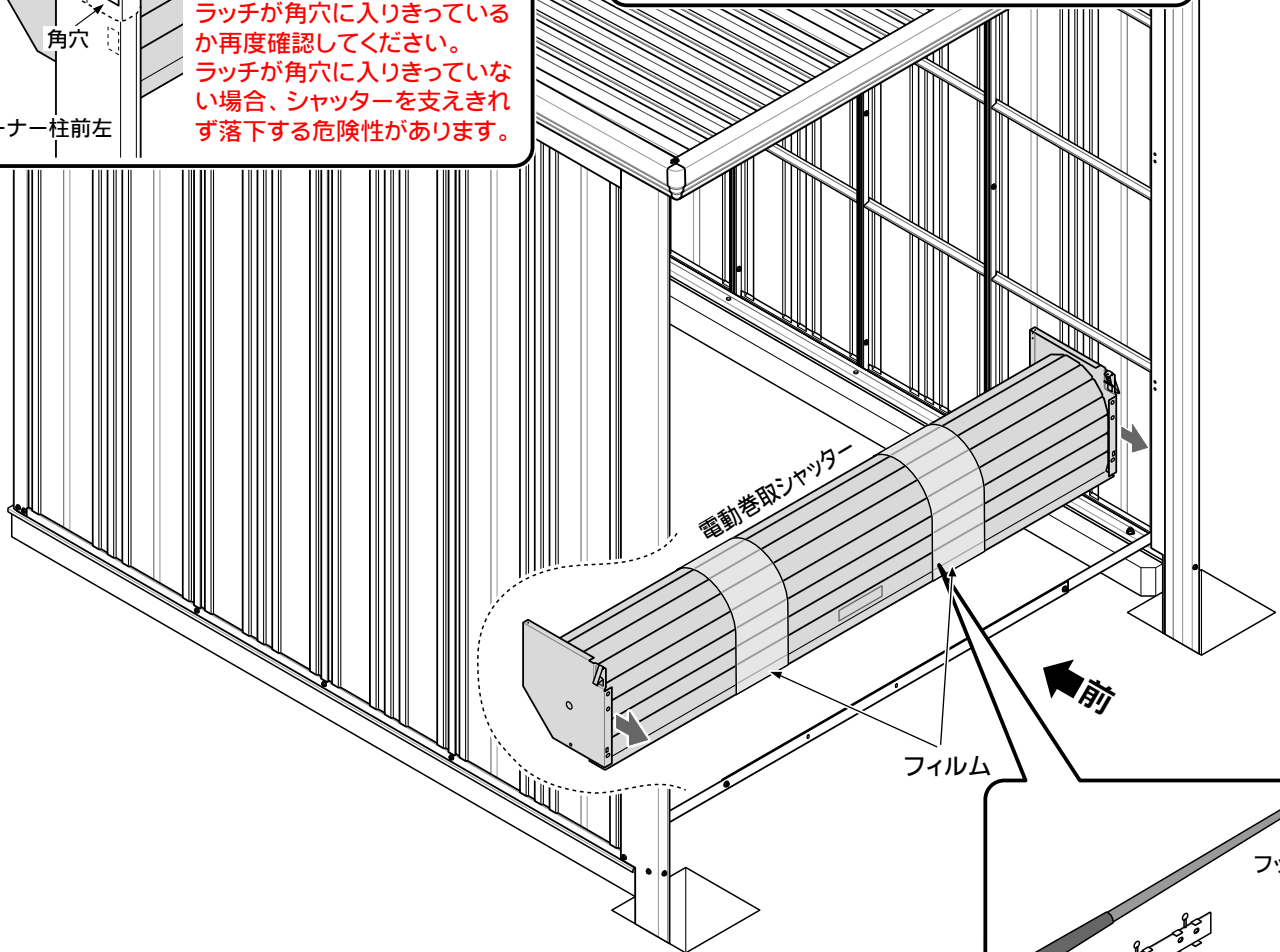
シャッター両側面のラッチを、コーナー柱前の下から3番目の角穴に引っ掛けます。



ラッチを角穴に引っかけた際にラッチが角穴に入りきっているか再度確認してください。ラッチが角穴に入りきっていない場合、シャッターを支えきれず落下する危険性があります。



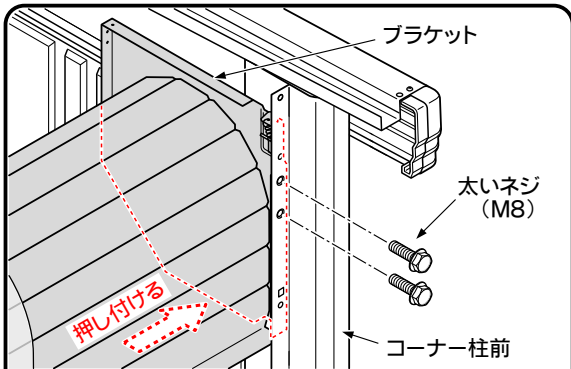
ラッチの掛かり具合を確認しながら、角穴1段ずつ左右交互にシャッターを持ち上げてください。



組立前に外してください。

# 4. 電動巻取シャッターの固定・パラペットの取付

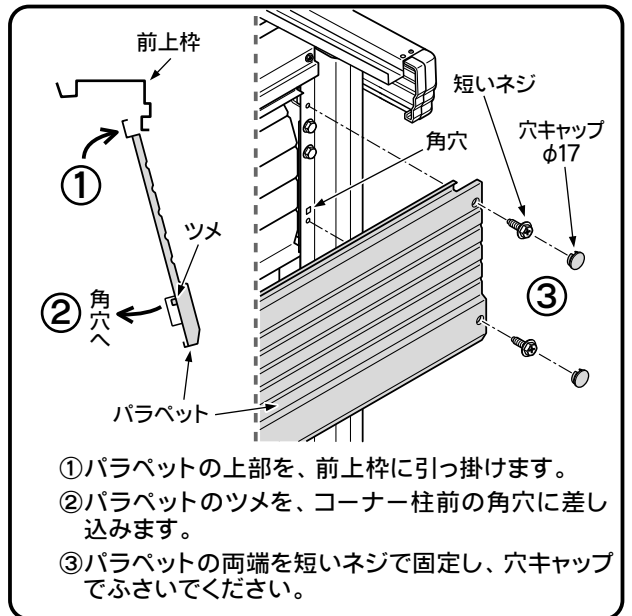
## ●シャッターの固定



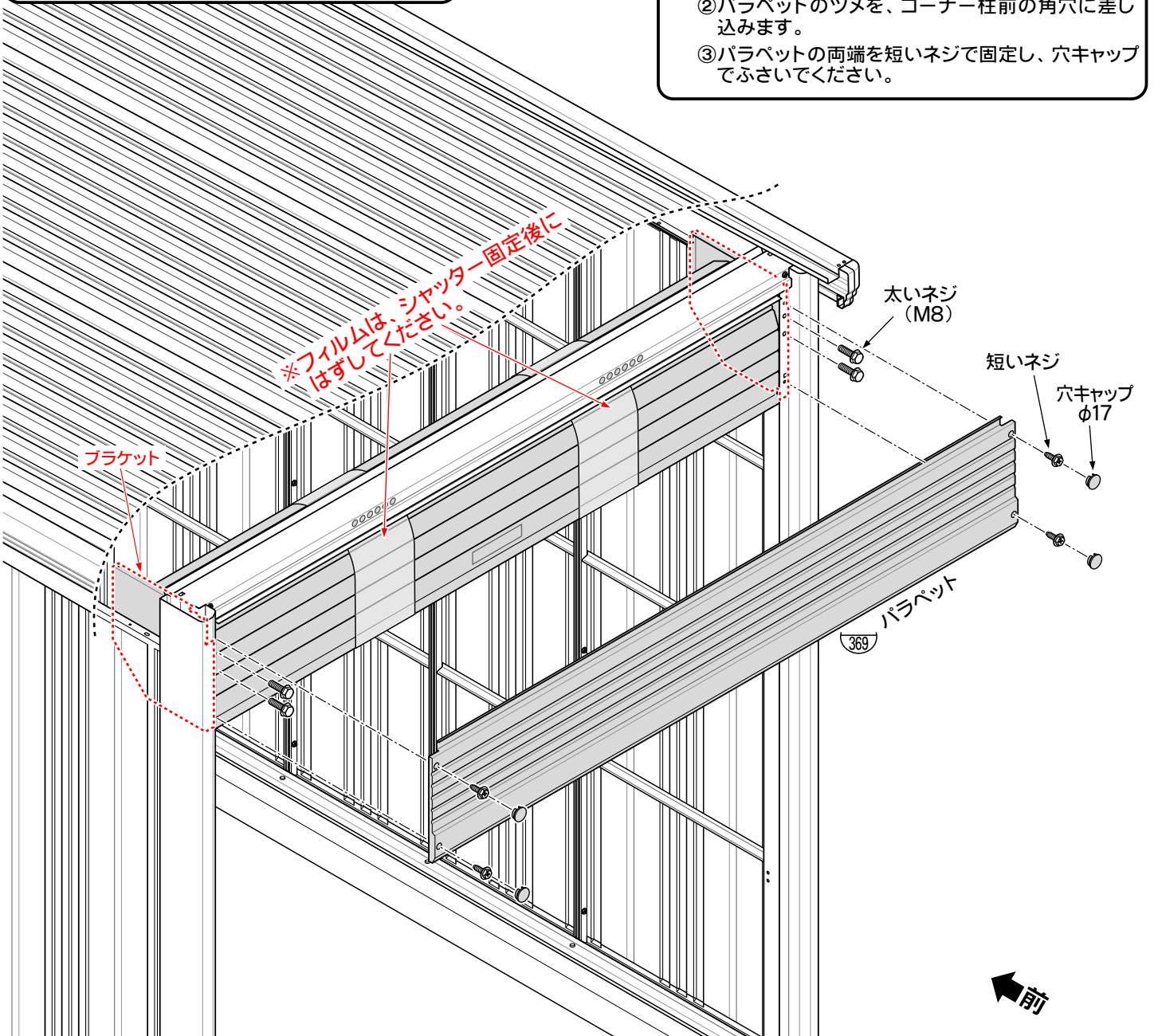
- ブラケットの下部を、コーナー柱前に押し付けながら、コーナー柱前の上から3番目と4番目の穴に、太いネジ(M8)でネジ止めしてください。  
すき間があると、シャッターを正常に開閉できません。
- シャッターが固定できたのを確認してからフィルムをはずしてください。

## 使用部品

太いネジ (M8)	4
369 パラペット	1
短いネジ	4
穴キャップ (φ17)	4



- ①パラペットの上部を、前上枠に引っ掛けます。
- ②パラペットのツメを、コーナー柱前の角穴に差し込みます。
- ③パラペットの両端を短いネジで固定し、穴キャップでふさいでください。

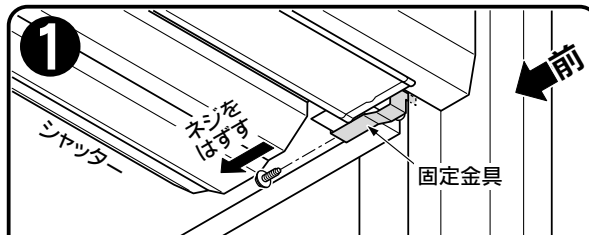


## 5. ガイドレール・ホイルカバーの取付け

### 使用部品

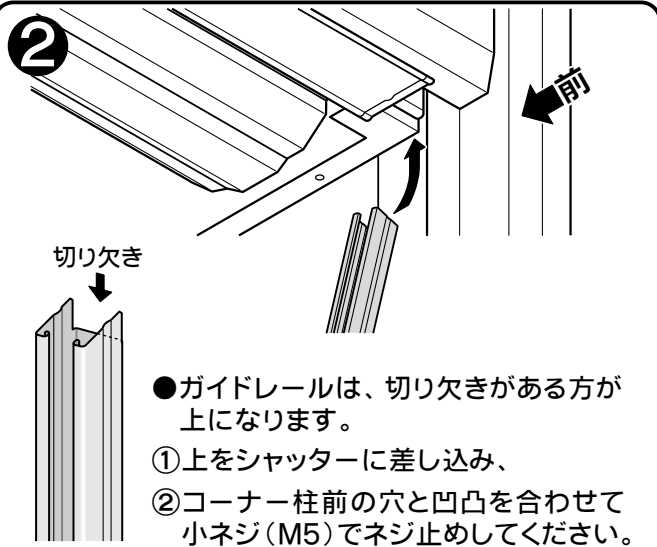
③56	ガイドレール	2
	小ネジ (M5)	10
	ホイルカバー	3または4

後々のメンテナンスや修理にそなえてガイドレールをカットしてください。詳しくは、本体の組立説明書をご参照ください。



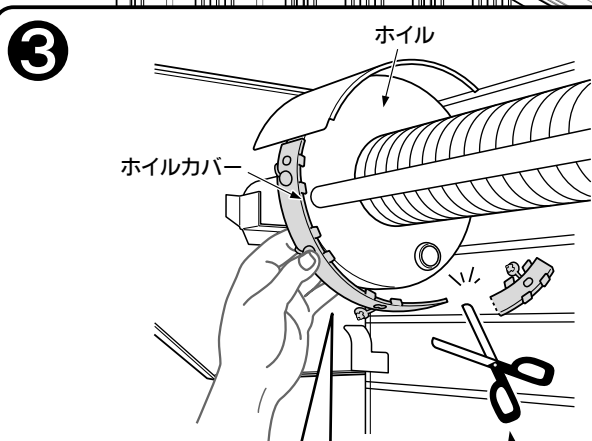
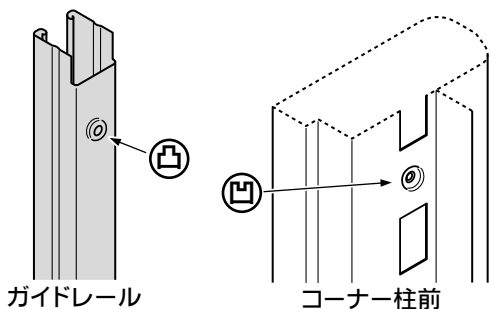
ガイドレールを取り付ける前に、シャッターの固定金具を取り除いてください。

- 物置本体を解体・移設する時は、必ずシャッターを固定金具で固定してください。そのため固定金具の保管を心がけてください。
- バイクシャッターマン BS型には、ホイルカバーは使用しません。
- WS-1819・1822・1826・1829・2219・2222・2226・2229型は、ホイルカバーを3ヶ所に取り付けます。
- WS-2519・2522・2526・2529・2919・2922・2926・2929型は、ホイルカバーを4ヶ所に取り付けます。



●ガイドレールは、切り欠きがある方が上になります。

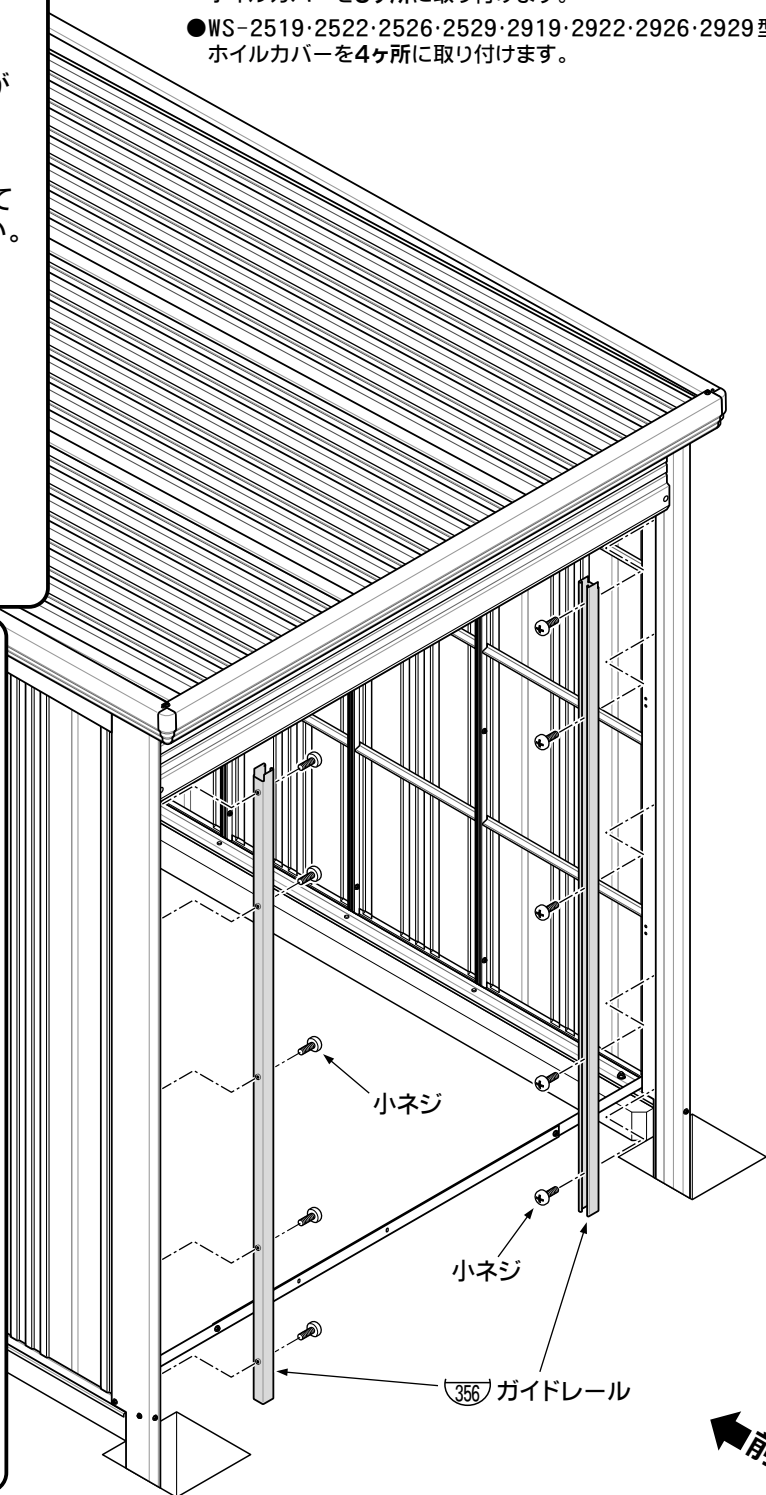
- ①上をシャッターに差し込み、
- ②コーナー柱前の穴と凹凸を合わせて小ネジ (M5) でネジ止めしてください。



ホイルの穴に合わせて、キャップを押し込みます。

キャップ

- ホイルカバーは、シャッターを一番下までおろした状態で取り付けます。
- ホイルとシャッターパネルの隙間が少なく、取り付けできない部分は切断します。
- ホイルカバーは、**すべて同じ長さ**に切りそろえて取り付けてください。(左右のバランスが狂います)

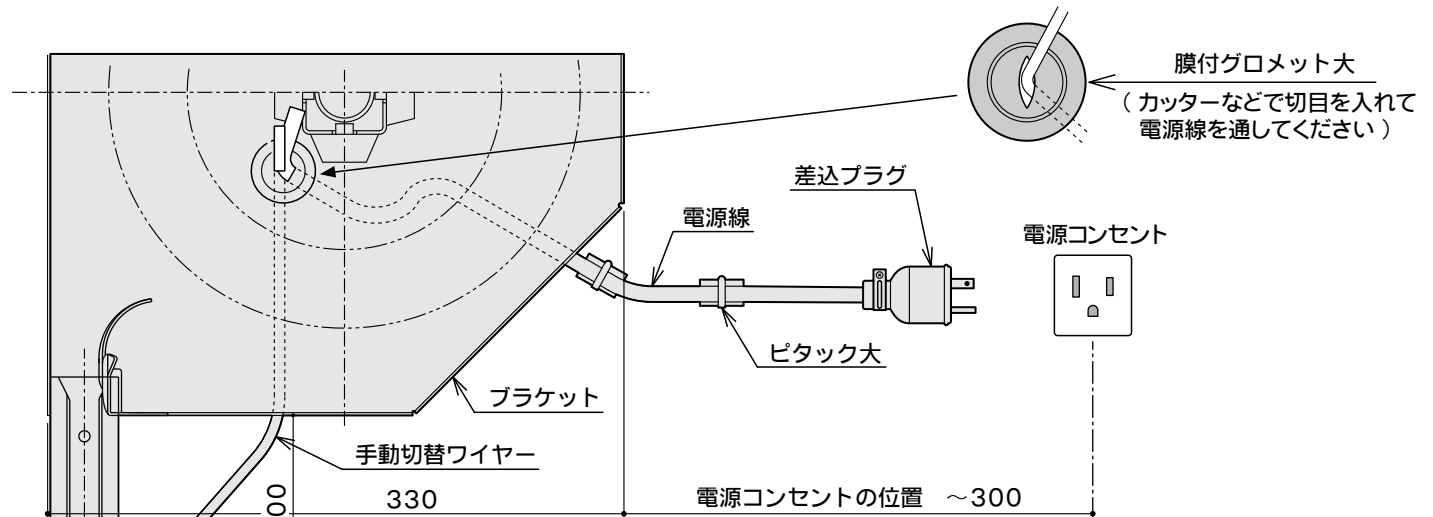


## 6. 電源の接続と手動切替ワイヤの取付け

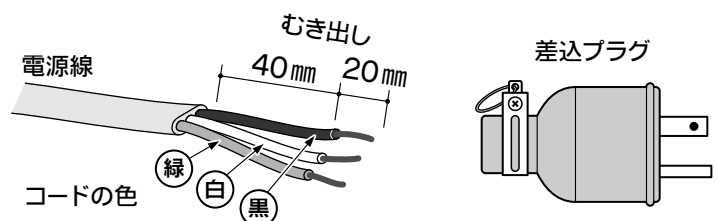
1. ブラケットのφ25穴に、膜付グロメット大をはめ込み、電源線を通します。
2. 電源線に差込プラグを取り付けます。
3. 電源コンセントは、ブラケットから300mmを目処に設けてください。
4. ワイヤー固定金具は、PANテクスネジ(4×16)で前コーナー柱に固定してください。
5. 手動切替ワイヤを、ワイヤー固定金具に取り付けてください。
6. 手動切替ワイヤの先に、下図の要領で手動切替リングを取り付けます。
7. 反対側(内観左側)にも、膜付グロメット大をはめ込んでください。

### 使用部品

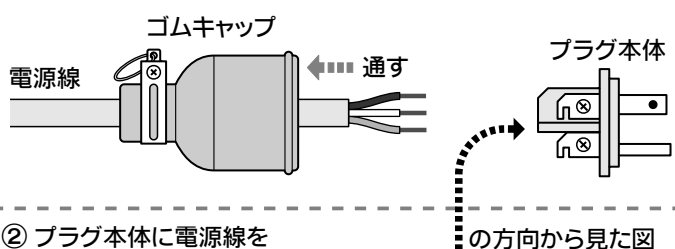
ワイヤー固定金具	_____	2
PANテクスねじ(4×16)	_____	2
ワイヤースリーブ	_____	1
手動切替リング	_____	1
ピタック大	_____	2
膜付グロメット大	_____	2
差込プラグ	_____	1



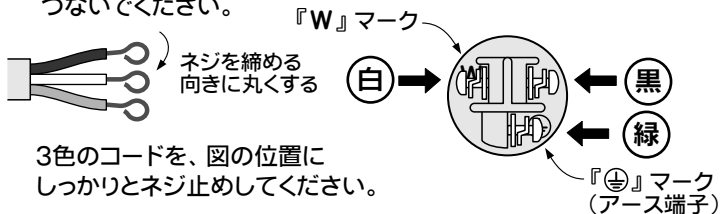
### 【電源線と差込プラグの結線】



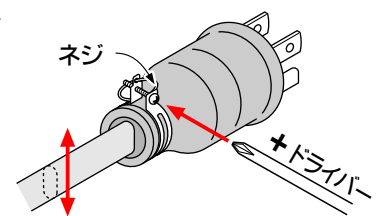
- ① 差込プラグのゴムキャップをはずし、電源線に通してください。



- ② プラグ本体に電源線をつないでください。



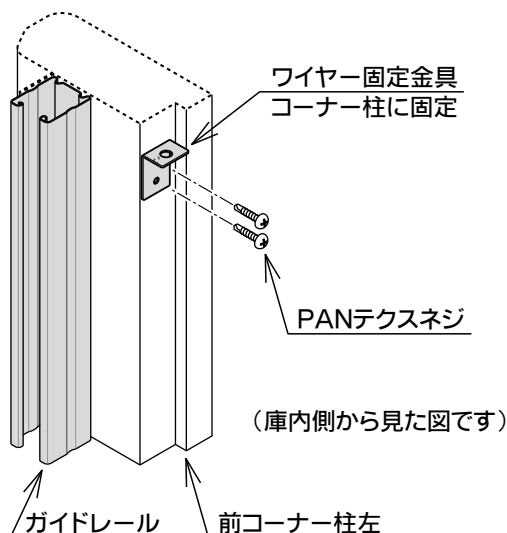
- ③ ゴムキャップをかぶせ、ネジを締めます。その時、締め付ける方向に対して、電源線がタテ向きになるように、しっかりと締め付けてください。



※手動切替リングを一度引っ張れば手動になります。自動に戻すには、もう一度引っ張ってください。

※うまく切替えられない場合は、シャッターを上下に動かしながら引っ張ってください。

手動切替リング



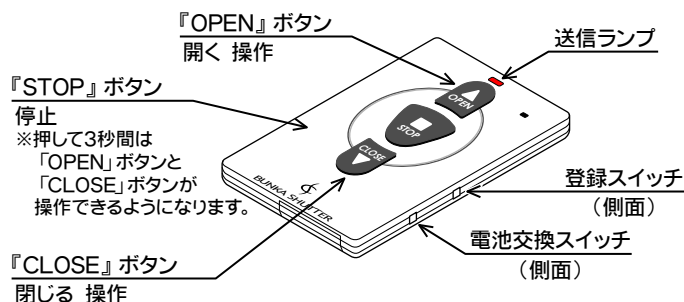
## 7. 上下限リミット（停止位置）の設定

### 手動確認

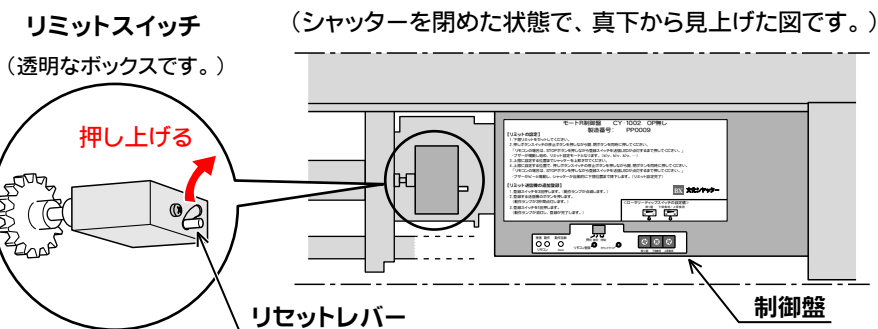
- 本体取付後、手動で数回開閉し「スラットの片寄り」「片下り」がないことをご確認ください。不具合があれば調整してから、上下限リミット（停止位置）の設定を行ってください。

### 各部の名称

#### 【リモコン送信機】



#### 【電動開閉機】



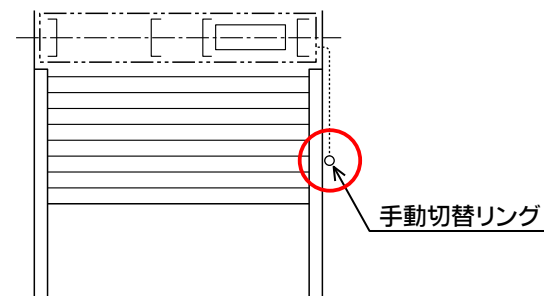
※土間コンクリート工事を後日行う場合は、下限位置が変更になります。事前に土間の高さを確認しておくか、土間工事後に再設定が必要になります。

### 上下限リミット（停止位置）の設定

- 必ず、最初に上下限リミットの設定を行ってください。
- 上限リミットの設定までの操作を完了しないと、下限位置でも停止しませんのでご注意ください。
- 製品に同梱のリモコン送信機（登録済み2枚中1枚）を用意してください。

#### ① 手動に切替

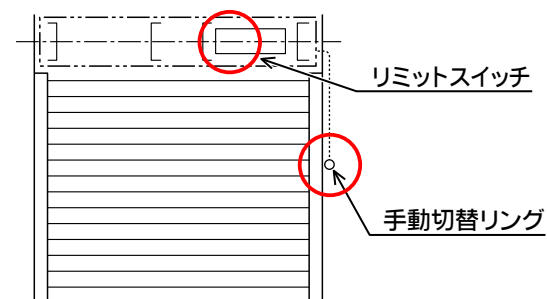
手動切替リングを1回引き、シャッターを手動にして下限位置まで動かします。



#### ② 下限リミットの設定

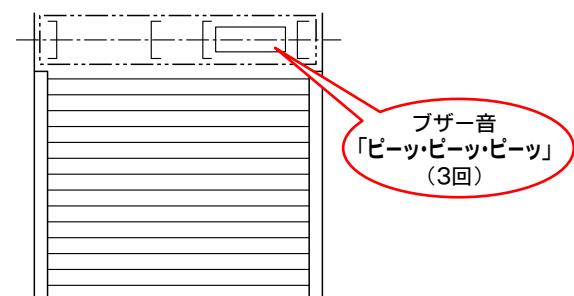
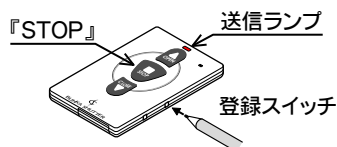
下限位置でもう一度、手動切替リングを引いてシャッターをロックし、リミットスイッチのリセットレバーを押し上げてください。

※ うまく切替られない場合は、シャッターを上下に動かしながら引っ張ってください。



#### ③ 上限リミットの設定モード

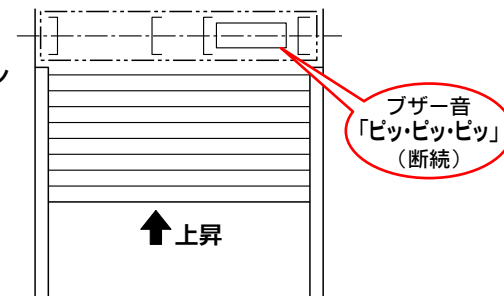
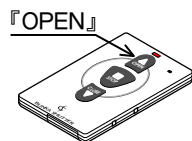
リモコン送信機の『STOP』ボタンを押しながら、ボールペンの先などで『登録スイッチ』を、送信ランプが点灯するまで押してください。ブザー音（3回）が鳴ります。





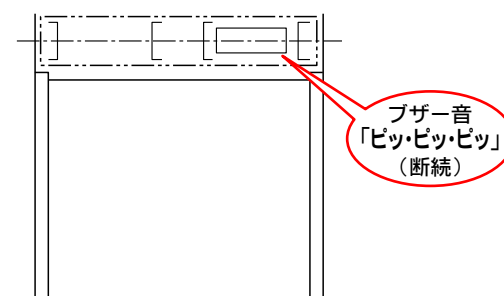
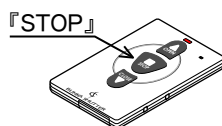
#### ④ シャッターを開く

設定が完了するまで、ブザー音（断続）が続きます。『STOP』ボタンを押して3秒以内に『OPEN』ボタンを押してシャッターを開いてください。



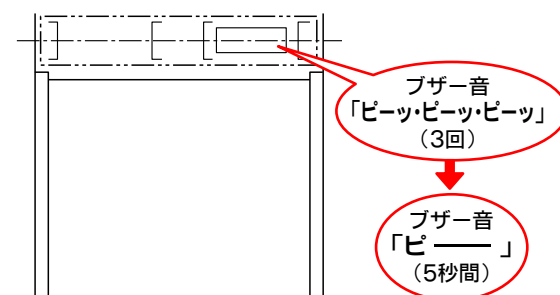
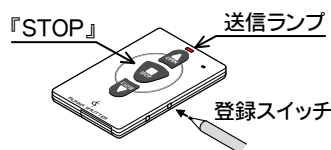
#### ⑤ 上限位置で停止

上限リミットに設定したい位置で『STOP』ボタンを押し、停止させてください。



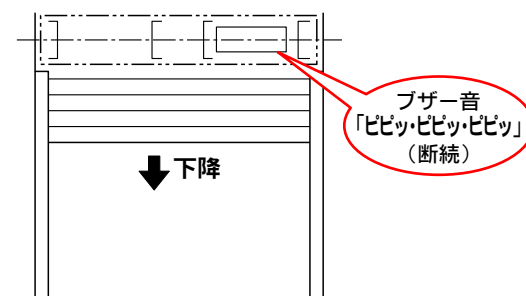
#### ⑥ 上限リミットの設定

『STOP』ボタンを押しながら、ボールペンの先などで『登録スイッチ』を送信ランプが点灯するまで押してください。ブザー音（5秒間）が鳴ります。



#### ⑦ シャッター自動下降

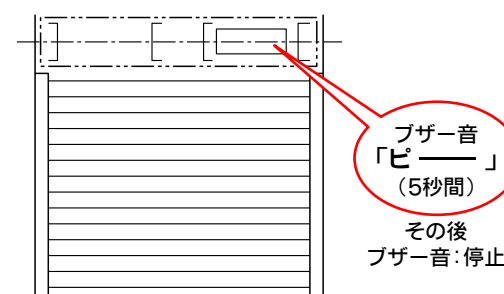
シャッターが自動で下降を始めます。



#### ⑧ 設定の完了

下限位置で自動的に停止し、ブザー音（5秒間）が鳴ります。

以上で、  
上下限リミットの設定は完了です。



#### [注意事項]

- ⑥上限リミットの設定までの操作を完了しないと、シャッターは下限リミット位置で停止しません。必ず上下限リミットの設定を完了してからお使いください。リモコン送信機の『STOP』ボタンでは止まりません。
- ③～⑥ までは上限リミット設定モードです。この間に 30秒以上 操作を行わないと、ブザー（断続）が停止し、通常モードに戻ります。設定操作は、再び①から始めてください。

## 8. 障害物感知装置の動作確認とその他の操作方法

### [障害物感知時の動作と注意]

#### (1) シャッター降下中

- ・ 降下中に開閉機が負荷の変動を検出すると、シャッターは停止後2秒間上昇してから停止します。(反転上昇時はブザーが5秒間鳴ります。)
- ・ 反転上昇停止時は、開閉操作ができません。  
→ その場合は、一度リモコン送信機の「OPEN」ボタンを押しシャッターを上昇させてください。

#### (2) シャッター上昇中

- ・ 上昇中に開閉機が負荷を検出すると、シャッターは停止します。(停止後ブザーが2秒間なります。)

#### (3) 負荷感知不能エリア

- ・ 上限から約300mm降下するまでの間は、負荷を検出できません。
- ・ 開閉操作開始から1～2秒間は、負荷検出の感度が悪くなります。

### [停電の場合]

- ・ 停電しただけでは、上下限の停止位置は狂いません。
- ・ 停電した場合でも、シャッターは設定された上下限停止位置を記憶しています。(但し、負荷検出の感度が落ちています。)いちど電動で下限停止位置まで動かしてください。感度が戻ります。(※ブザーが鳴り注意を促します。)

### [手動への切替え方]

- ・ 出荷時点は、「電動」になっています。
- ・ 手動切替リングを1回引いてください。引くごとに、「電動」→「手動」→「電動」と切替ります。
- ・ 通常は、「電動」の状態にしておきます。停電など緊急の場合のみ「手動」に切替えてお使いください。

### [手動操作を行った場合]

- ・ 手動操作を行った場合は、上限停止位置が狂います。
- ・ この場合も、いちど電動で下限停止位置まで動かすと、正しく再設定されます。

### [上下限の停止位置を変える場合]

- ・ 上限停止位置、下限停止位置を変える場合は、[上下限リミット(停止位置)の設定]を再度行ってください。

### [サーマルプロテクタの働き]

- ・ 連続開閉などにより、モーターの温度が一定以上に上昇すると、サーマルプロテクタが働きモーターが止まります。
- ・ サーマルプロテクタは30分程度で自動復帰しますが、その間シャッターは電動での開閉ができません。

### [スラットの巻き弛み、緩みに注意]

- ・ スラットの巻き弛み、緩みや片寄りのある場合は、上下限リミット設定の前に手直ししてください。障害物感知が正しく設定できない場合があります。
- ・ 負荷感知が作動した場合も、スラットの巻き弛みを起こしていることがあります。いちど下限停止位置まで動かして確認し、必要に応じて手直ししてください。

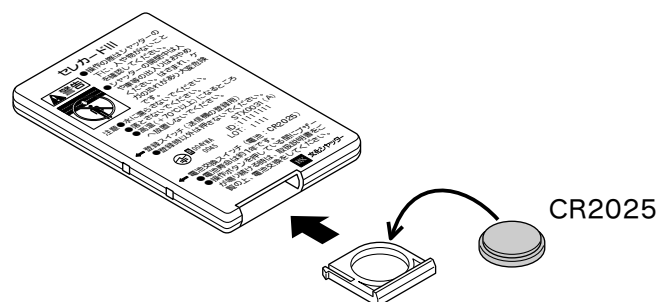
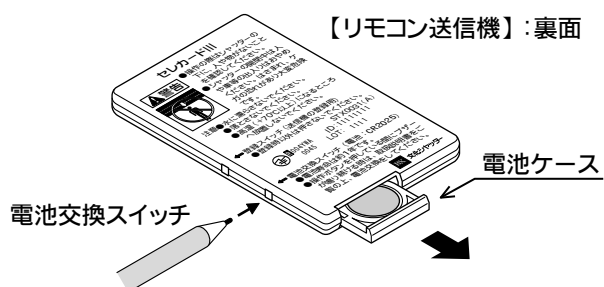
### [リモコン送信機の電池交換方法]

- ・ 電池は通常1年を目安に交換してください。  
電池容量が低下すると、スイッチを押している間「ピッピッピッ」という音が鳴り続けます。(交換前の電池は作動確認用です。寿命が短い場合がありますが、ご容赦ください。)

① 交換用の電池を用意します。(コイン型リチウム電池:CR2025×1個)

② 側面の「電池交換スイッチ」をボールペン等の先で押すと「電池ケース」がスライドします。「電池ケース」をリモコンから引き出してください。

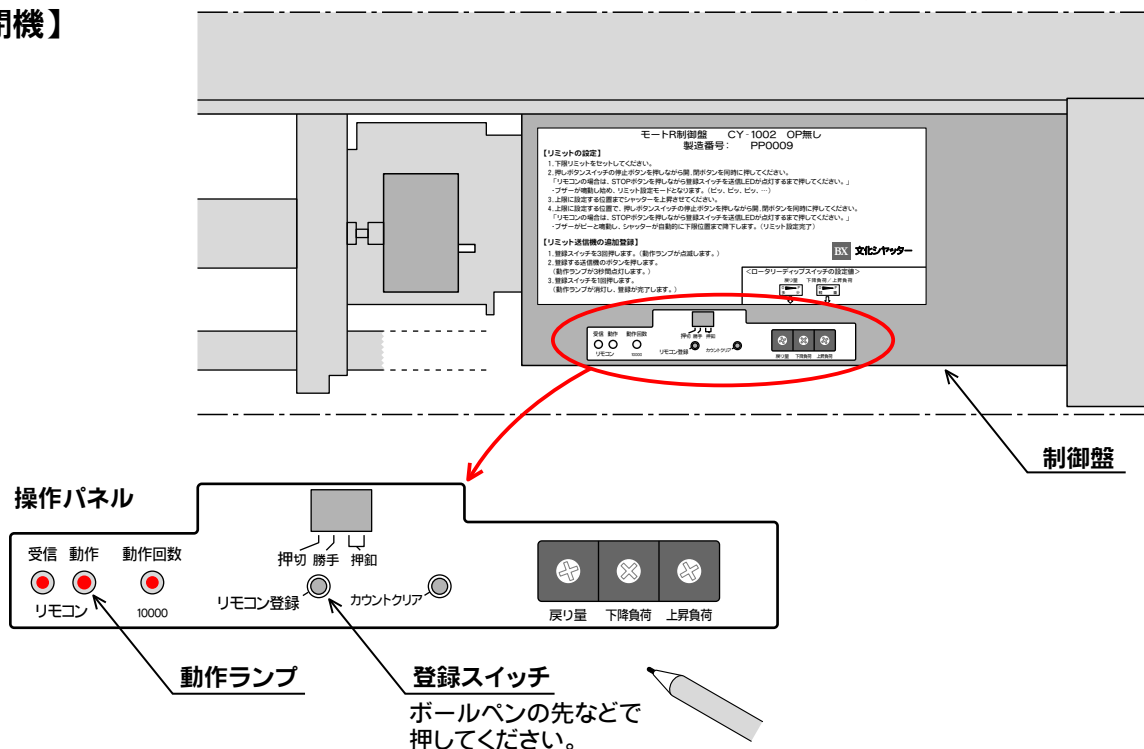
③ 新しい電池と交換して「電池ケース」を元に戻してください。電池の+マークは下になります。



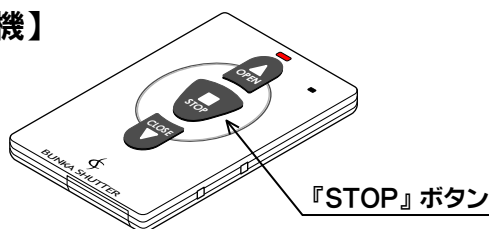
## 9. (オプション) リモコン送信機の追加登録

### 【電動開閉機】

(シャッターを閉めた状態で、真下から見上げた図です。)



### 【追加登録する リモコン送信機】



■ リモコン送信機の追加登録は、つぎの要領で行ってください。

- ① 制御盤下面にある【操作パネル】の「登録スイッチ」を、10秒間に3回押します。  
動作ランプが「点滅」を始めます。
- ② 登録する【リモコン送信機】の「STOP」ボタンを押します。  
動作ランプは、「3秒間点灯」→「点滅」と変わります。
- ③ 【操作パネル】の「登録スイッチ」を、1回押します。  
動作ランプが「消灯」し、登録完了です。

この説明書はお客様が大切に保管してください。

### 【お客様へ】

このたびは、弊社のリモコンシャッター物置をお買い上げいただき  
まことにありがとうございました。  
もし、なにかご質問などございましたら  
下記にご連絡お願い申し上げます。  
今後とも、宜しくお願い申し上げます。

## タクボ製品についてのお問い合わせ

一貫して生産されるタクボ製品は、品質管理には細心の注意を払っています。万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせがございましたら、下記の弊社営業所（AM9:00～PM5:00）までお気軽にご連絡ください。

西条事務所/工場	〒799-1392	愛媛県西条市北条962-7	0898(65)5000(代)
仙台営業所	〒983-0035	宮城県仙台市宮城野区日の出町3丁目8-12	022(783)3360(代)
東京営業所	〒132-0001	東京都江戸川区新堀1丁目6-5	03(3698)2205(代)
埼玉営業所	〒362-0066	埼玉県上尾市大字領家91-1	048(783)0771(代)
横浜営業所	〒226-0028	横浜市緑区いぶき野31-14	045(984)1891(代)
名古屋営業所	〒485-0081	愛知県小牧市横内字下割子287-21	0568(74)5506(代)
大阪営業所	〒561-0891	大阪府豊中市走井3丁目1-2	06(6844)3300(代)
広島営業所	〒731-0231	広島市安佐北区亀山4-11-54	082(814)6690(代)
高松営業所	〒761-8075	香川県高松市多肥下町1529-8	087(865)1349(代)
松山営業所	〒790-0062	愛媛県松山市南江戸2丁目4-10	089(922)4300(代)
福岡営業所	〒812-0888	福岡市博多区板付7丁目11-15	092(591)5524(代)

(<https://www.e-ty.co.jp>)

**TAKUBO** 株式会社 **田窪工業所**